

行事食メニューのご紹介

INTRODUCTION OF FOOD MENU

栄養科では、毎月季節を意識したメニュー や、普段とは異なるメニューをとりこんだ行事食を提供しています。患者様に喜んでいただけるお食事を心がけています。

お正月メニュー

朝	1月1日	朝	1月2日	2月3日	
食	・ご飯 ・祝い肴 (蒲鉾・伊達巻・八幡巻き・黒豆) ・鶏肉と野菜の煮物 ・練り物(たいみそ) ・すまし汁 ・りんごジュース	食	・ご飯 ・祝い肴 (寿なると・焼き鳥・白和え・葉きんとん) ・海老しんじょう ・練り物(いりこみそ) ・みそ汁 ・りんごジュース	食	・ご飯 ・金目鯛の煮つけ ・三色和え ・祝い華(ねりきり) ・みそ汁
夕	・お赤飯 ・銀たらの西京焼き ・菜の花の和え物 ・デザート(いちご) ・みそ汁	夕	・太巻き ・五目煮しめ ・卵豆腐 ・節分豆 ・すまし汁	夕	・ご飯 ・松かさ焼き ・揚げ茄子の薬味ソース ・なます
タ	・ご飯 ・牛肉しぐれ煮 ・海老と枝豆の卵とじ ・かぶの梅和え ・干支まんじゅう(戌)	タ			

節分メニュー

KANSEN NEWS

感染予防を徹底しましょう!!



インフルエンザや胃腸炎等の感染が流行る時期になりました。感染予防対策は標準予防策が必須です。みなさんはコンタクトポイントを知っていますか？

1 手指衛生・手指消毒

これが基本です！！もう一度手洗いの手順を見直してみましょう。

2 マスク着用

くしゃみや咳をした時1~2mの飛沫があります。手で口を押された時に、その手が感染拡大をしてしまう可能性がある為、マスクを着用しましょう。

3 換 気

換気することで、空気中の細菌やウイルスの密度を低下させる効果があります。部屋の換気を十分に行いましょう。

<病院理念>

幸せ・満足に貢献する病院

<基本方針>

- 高度な医療・看護・リハビリテーションの知識を高め実践します。
- チームアプローチに基づいた医療を提供します。
- 早期の患者様の社会復帰を目指します。

IMS(イムス)グループ 医療法人 三愛会
埼玉みさと総合リハビリテーション病院

〒341-0034 埼玉県三郷市新和5-207

TEL 048-953-1211(代表) URL http://www.ims.gr.jp/saitama_misato/



IMSグループ 広報誌 プラザイムス

PASSO 埼玉みさと総合リハビリテーション病院

(財)日本医療機能評価機構認定病院

2018年2月 Vol.17

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報を伝えするコミュニケーションペーパーです。



Contents
今号のPASSO

P1 病院長 ごあいさつ
OT(作業療法士)部門紹介

P2 「クリスマス会」を開催しました！
「デイケア餅つき」を開催しました！

P3 広報誌刊行に寄せて
機能的電気刺激について
リハビリ訓練機器のご紹介

P4 行事食メニューのご紹介
感染予防について



Greeting
病院長 ごあいさつ

私どもの病院は回復期におけるリハビリを行なう専門病院であります。脳疾患、整形外科疾患を中心に急性期の治療に目途がつき、安定した段階で早めに適切なリハビリを行なうことで、より多くの患者様が自宅に戻れるよう、さらに慢性期医療、在宅医療へ円滑に移行できるようお手伝いさせていただいております。

急性期一般病院と違うのは、同じ疾患、同じ障害程度でも一人一人のゴールが違う点です。その人の考え方、家庭環境・社会環境によって求めるものは全く変わってきます。その点を十分に考慮しながら入院されて早い時期から患者様と良く相談しながら目標を設定し、調整ていきます。病気の診断・治療を行なうのはサイエンスですが、当院の医療はさらにその人に合った生活の質を高めること、まさに日野原先生が仰っているアートと捉えていきたいと願っております。職員全員がアーティストとして、患者様を多方面から全力で支援してまいります。どうぞ今年もよろしくお願い申し上げます。



院長
熊澤 健一

OT(作業療法士)部門紹介

回復期リハビリテーションにおける作業療法では「在宅復帰」「社会復帰」を目標に、日常に必要な活動(食事・更衣・整容・入浴・家事動作など)、余暇活動等の指導・訓練を行い、個々の患者様に必要な身体機能や高次脳機能・精神機能(注意・記憶・計算など)の回復を図り、患者様1人1人の目標や退院後の生活に合わせた支援を行っています。

また、退院後の生活に必要な住環境の整備や福祉用具の提案をソーシャルワーカーやケアマネジャーなどと連携して取り組んでいます。

当院では、社会復帰に向けて自動車運転や就労に特化した支援チームによる充実したサポートを行っています。運転希望の方には運転シミュレーター等の評価・練習を行い、就労希望の方には通勤手段の検討や復職・新規就労に向けた情報提供を実施しています。

リハビリ見学は面会時間内であればいつでも可能ですので、お気軽にリハビリスタッフへお声かけ下さい。



毎年恒例
院内行事



クリスマス会

を開催しました!

当院の行事委員会が主催し、毎年趣向を凝らした内容となっています。開催前から全職種一丸となって協力し合い、患者さまにクリスマスの雰囲気を味わっていただこうと本番に向けて準備を進めてきました。病棟ごとに企画・開催を行っていて、どの病棟も去年と比べてパワーアップした内容となりました。



デイケアにて餅つき大会を開催しました!

今年は利用者様、スタッフだけでなく、近隣の少年野球のお子さん達にも参加して頂きました。

「よいしょ」のかけ声に合わせながら、利用者様もスタッフと一緒に歩い、笑顔の多い餅つき大会になりました。ついたお餅は鏡餅にしましたが、形作りが難しく、スタッフや子供達は利用者様に教えてもらい作る事が出来ました。作った鏡餅は、デイケアに飾った他、病院や地域包括支援センターにも配り、とても喜ばれました。

2017年の良い締めくくりになり、今年もまた開催できればと思っています。



日本医科大学大学院
リハビリテーション学分野
教授 松元 秀次

広報誌刊行に寄せて

日本医科大学大学院リハビリテーション学分野の松元秀次と申します。

私の所属する日本医科大学付属病院は急性期病院で、断らない医療を実践しております。日本発の高度救命救急医療センターを有することから地域に頼りにされている病院といえます。一方で、急性期を過ぎた患者様は“回復期”に入り、早期の日常生活活動の自立を目的としたリハビリテーションを集中的に行う必要があります。

ここ埼玉みさと総合リハビリテーション病院は、『回復期リハビリテーション』に力を入れた病院で、様々な疾患(脳神経疾患、整形外科疾患、各種術後や肺炎など)に対応いただいております。日本医科大学と連携を取りながら機能改善や高い在宅復帰率のリハビリテーションの治療成績をあげております。今後も患者様への質の高いリハビリテーション治療の提供に共同しながら診療にあたって参ります。何かお困りのことがございましたら我々リハビリテーション科医師にご相談ください。よろしくお願ひいたします。

機能的電気刺激

内科部長 大西 由紀

私たちの病院は、機能的電気刺激を脳卒中のリハビリテーション訓練に取り入れています。この方法では、実際の動作に合わせたパターンの電気刺激や筋肉の弱い動きを察知し、協調する電気刺激を与え、筋肉の動きをアシストしながら訓練を行います。刺激を調節しながら行いますので、患者さんが感じる痛みはほぼありません。脳卒中治療ガイドライン2015年版でもリハビリ訓練法の一つとして勧められており、日本国内の臨床研究が積み重ねられています。当院では4種類の電気刺激装置を使用しています。

機能的電気刺激のリハビリテーション効果について、日本国内で臨床研究が積み重ねられています。私たちは、日本医科大学大学院リハビリテーション学分野・松元秀次教授のご指導の下、ウォークエイド®の臨床研究に参加しています。ただし、本電気刺激装置は向き・不向き、禁忌(使ってはいけない人)があります。ご興味のある方は、担当医師や担当療法士にお尋ねください。



リハビリ訓練機器のご紹介

免荷式トレッドミル

『可動式免荷装置アンウェイシステム』と『ゲイトトレーニングシステム3』

この機器は歩行練習を行う為の運動療法機器です。

可動式免荷装置アンウェイシステムにより、対象者の身体を支えることで転倒の危険性を制御しながら、トレッドミルのベルト走行面を歩き、歩行練習を行います。また、ゲイトトレーニングシステムにより、実際の歩幅と適正の歩幅をモニターに表示し、目標とのズレを修復しながら実施出来ます。詳しくは、当院医師またはリハビリスタッフへご相談下さい！

